



TOKYO
SHIMBASHI
ROTARY CLUB
JAPAN
2017/2018



国際ロータリー2750地区
東京新橋ロータリークラブ

A City Alive with Green and Water

街に緑と水を

WEEKLY REPORT



年次標語「みんなで楽しもう 充実したクラブライフ」

本日の卓話

千葉科学大学 副学長 危機管理学部 教授

東 祥三 様

「現代社会に潜む危機」

(長尾 正平 会員ご紹介)



～前回の例会～

福田 稔 氏

「お種人参の輸出考」

中根 正紀 会員 ご紹介

本日は、「お種人参の輸出考」という演題でお話をさせていただきます。お種人参の輸出考とは、江戸幕府 8 代将軍徳川吉宗指揮のもと、世界に先駆け日本で初めて栽培された薬用人参(俗に言う朝鮮人参)の輸出の物語です。何時頃から行われ、なぜ輸出を急いだのか、また日本と清国の合作であったのか等をお話し致します。

～お種人参の呼称と薬効～

日本薬局方に、原料の薬草はオタネニンジン、薬品名はニンジン・コウジンと称し、ニンジンはオタネニンジンを起原とすると言われています。歴史的には栽培初期の頃、輸入品(含清国産)と栽培品(朝鮮人参種)が並存していましたが、朝鮮種人参がオタネニンジンと呼ばれるようになりました(1781年)。オタネニンジンとは、日本・満州・朝鮮で栽培されましたが、特定の地名・時代での呼称は誤解を招く可能性があり、昭和9年に「薬用人参」の呼称が提唱されます。薬効としては、主として健胃消化、滋養強壯、漢方処方薬の原料とされていますが、万能薬ではあるものの特効薬ではなく、また滋養強壯の拡大解釈は古来からされています。日本で

は人参が共通だが、欧米では薬用人参は「ginseng」、食用人参は「carrot」である。

～江戸時代の人参ブーム～

薬用人参の歴史は、8世紀ころ渤海国より聖武天皇へ「人参」が献上されたことから始まり、初めは朝廷・公家・大寺社へ、後に大名・武士・富裕層へと広がりました。17～18世紀ころには庶民にも広がり、大人参ブームになります。このブームの結果、朝鮮産人参の品不足・価格高騰・品質粗悪品化に拍車がかかったため、幕府は国産薬用人参の栽培に着手します。

～栽培と薬品化～

幕府は、種子の入手を長崎会所に依頼し、愈枚吉が清国種の種子と『人参譜』を幕府に献上します。佐渡を試作地として発芽・養育に成功し、日光で量産化することになります。その後、人参種子を販売し、栽培の普及化に努め、会津・島根・仙台・肥後などで独自の薬品化が図られます。幕府としては独占の意思はなく、民間でやらせる方針でしたが、品質管理は厳格に行いました。当時の日本は舶来品を尊重する傾向が強かったため、幕府は日本で栽培した薬用人参を清国へ輸出し、清国のお墨付きを得ようとしていました。

～日清合作～

当時の清国は、清国産の人参不足・輸入朝鮮産人参の品質劣化・アメリカ産人参の低評価等があり、質の高い日本産人参を評価し、すぐに清国で受け入れることになります。日本・清国の思惑がそれぞれ一致したため、この薬用人参の輸出入は日清合作の出来事であると解釈できます。この結果、薬用人参の輸出で儲けた会津藩等は資金が潤沢となり、怒涛の幕末～明治維新へと繋がって行ったのだろうと推測されます。以上、ご清聴ありがとうございました。



第 1529 回例会報告

■4月24日例会プログラム

1. 点鐘
2. ローターソング「それでこそロータリー」
本日の歌「鉄道唱歌～東海道編 47 番」
3. 会長報告
4. 委員会報告
5. 卓話
6. 点鐘

■出席報告

- 4月24日出席者 44名 ビジター1名 ゲスト1名
出席率 64%
- 4月17日出席者 40名 メーキャップ5名 計 45名
会員数 63名 出席対象者 61名
修正出席率 74%

■ビジター、ゲスト(敬称略)

- 朝井 隆夫(東京西)
呉 純子(篠塚会員ゲスト)

ニコニコボックス

.....

- 村木 茂 家内の誕生日に美しいバラを頂きました。
普段は花より団子の家内も大変喜んで
います。有難うございます。
- 松井秀文 ①誕生日祝いの柿崎の棚田米、有難う
ございました。
- ②21日の土曜日、お台場で11回目の
ゴールドリボンウォーキングを行いました。
快晴で暑いくらいの日でしたが、3500名
を超える参加者で盛会裡に終えることが
出来ました。
- 木村奈美枝 2週続けてお休みしてしまいましたので、
ニコニコが遅くなりました。親睦葉見の会
ご参加いただきましてありがとうございました。又、河村さんご夫妻素敵なピアノバー
お世話になりました。
- 村上義弘 お誕生日のお米と妻の誕生日のお花、
ありがとうございました。

ふれあいの場

○会長報告(村木会長)

- ・ 本日は月末につき、お食事はカレーを用意しています。

- ・ 連休前にも関わらず、多数のご参加ありがとうございます。皆様へのご報告事項等、特段ありませんので、最近気になった時事ニュースについてお話し致します。

霞が関・永田町を賑わせている福田財務事務次官のニュースですが、個人的にはハニートラップではないにせよ、かなり近い事件だなと感じています。次官にもなって二人で何度も会食するというのは、ちょっと脇が甘かったなと思います。

4月10日の記念例会の卓話をして頂いた武歳 誠さんのお話にもありましたが、安倍首相が「首相も議員も辞める」という発言をされたことの余波が今回の騒動にも影響しているものだとも思います。

- ・ 柴田会員が16回目の米山功労者メジャードナーになりました。本当に素晴らしいことだと思います。本日はご欠席のようなので、表彰はまた改めて行います。

○委員会報告

特になし。

○幹事報告

- ・ 次週5月1日(火)は、休会です。間違ってお越しにならぬようご注意ください。

次回例会の予定

次回5月15日(火)は、

田邊 勉 会員による卓話です。

演題:『食と健康』栄養学のパラダイムシフト
です。



東京新橋ロータリークラブ

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3F

TEL 03-3502-7801 / FAX 03-3502-7802

E-mail: info@shimbashi-rc.jp URL: http://www.shimbashi-rc.jp/

会長 村木 茂 幹事 高橋秀一郎

会報委員会 委員長 伊賀大祐 副委員長 中井隆三 委員 上田啓子 関 隆利 由井伯秀 村上義弘